

1 大秦景教大聖通真歸法讚

敬礼大聖慈父阿羅訶皎皎玉容如日  
月巍巍功德超凡聖德音妙義若金  
鐸法慈廣被億万生衆靈昧却一切  
性身被万毒失本真惟我

5 大聖法皇高居無等界聖慈照入為灰  
塵驅除魔鬼為已郭百道妙治存平  
仁我今大聖慈父能以慧力救此億兆已  
聖衆神威超法海使我瞻拜心安誠一  
切善衆普尊奉同歸大法垂天輪  
10 敬礼

瑜罕難法王位下  
以次誦 天寶藏經 多惠聖王經  
阿思瞿利律經  
15 大秦景教大聖通真歸法讚一卷

18

沙州大秦寺法徒索元  
定傳寫教讚  
開元八年五月二日

制限せられ、遺漏を恐れながらこゝに本稿を公にすることゝした。他日機會を得て更に補正を試みたい。

兩經典の由來については、佐伯博士の記述に譲るが、要するに例の敦煌の佛洞から出土して、李盛鐸氏の舊藏となり、更に小島氏の手へ歸したものである。

一 大秦景教大聖通真歸法讚

今まづその全文を逐録する。(上掲參看)

この一卷は首尾完存し、初めの一行が題名、續く九行が相對の七字句の讚で、11行から14行までは、佐伯博士によると景教會の禮拜式に關する注意書、即ちルブリックで、讚を誦し終ると同時に、司會者が一同に對して聖壇所チャネルから瑜罕難法王位に敬禮を命令し、ついで天寶藏經の一節、多惠聖王經の一節、阿思瞿利律經一節を誦すべしとの指令であるとのことである。最後の15行は、初行と同じくこの讚の題名であることいふ